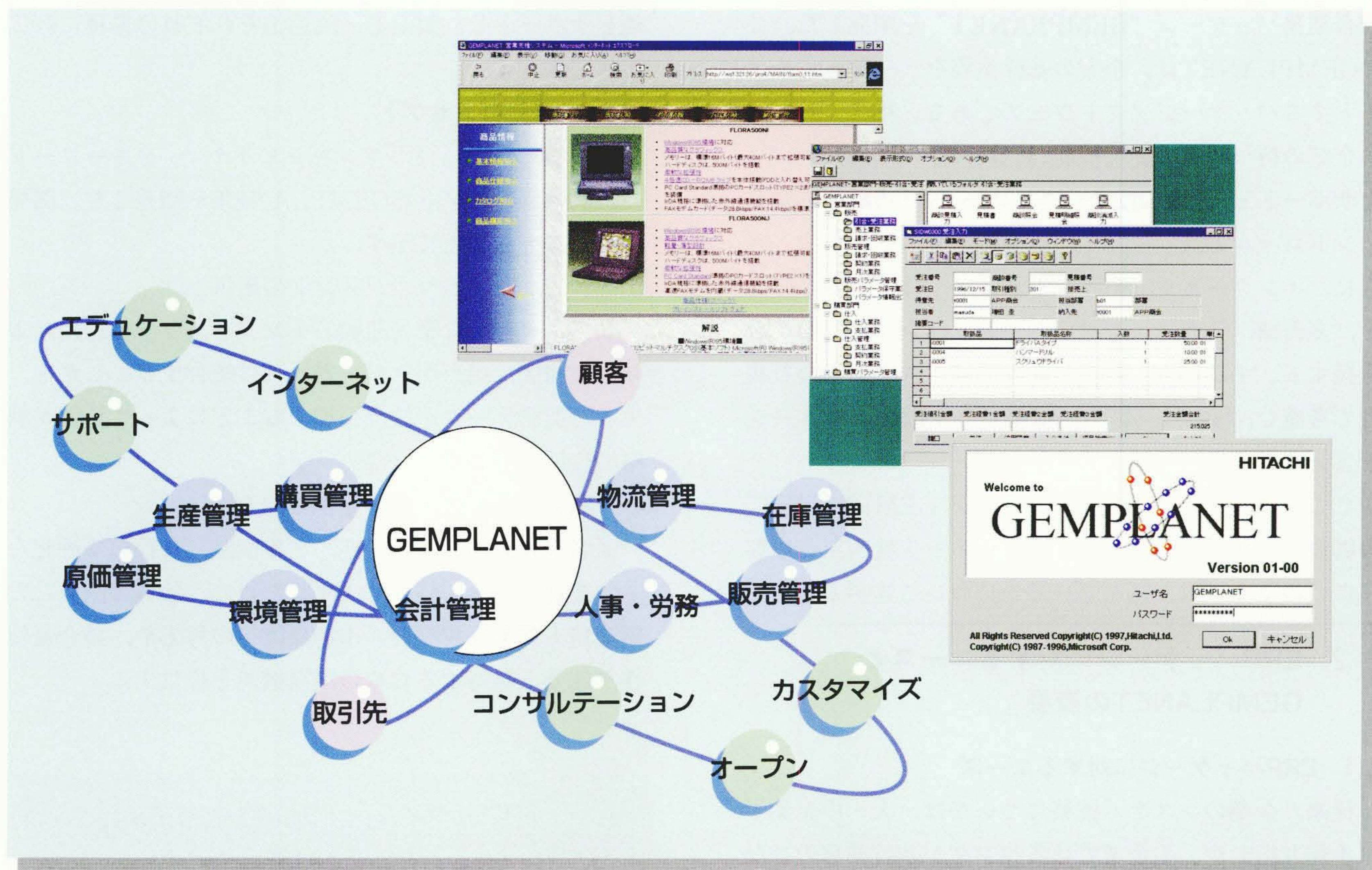


わが国企業特有の基幹業務を トータルに支援するパッケージソフトウェア

—GEMPLANET(ジェムプラネット)—

Generated Efficient Management Package for Launching a New Enterprise Technology

木橋智徳 Tomonori Kibashi
酒谷正人 Masato Sakatani



統合業務パッケージ“GEMPLANET”の製品体系イメージ

企業の基幹業務をトータルにサポートする統合業務パッケージ“GEMPLANET”は、企業のBPR(Business Process Re-engineering)を強力に支援する。

現在、国際化、多様化の進む中で、企業にはスピーディでフレキシブルな事業戦略の展開が求められている。そして、顧客ニーズにタイムリーに対応するために、また、絶え間なく続く事業環境に常に対応するために、新たな情報システムの再構築を必要としている。このような背景の下で、従来よりも基幹業務システムを「速く・確実に」構築することができ、かつ各業務が一連のプロセスとして連動することによって企業データを一元管理し、リアルタイムに活用できる統合業務パッケージに対するニーズが日増しに高まっている。また特にわが国では、

企業特有の業務形態に対応した製品が強く求められている。

このニーズにこたえるために日立製作所は、長年にわたるユーザーシステム構築・パッケージ導入の実績を基に、そのノウハウを生かした統合業務パッケージ“GEMPLANET(ジェムプラネット)”を開発した。

GEMPLANETは、わが国の企業の持つ特有の業務機能(製番管理、手形管理など)をサポートし、掲示板ワークフローや市場即応業務コントロール方式などのBPR機能を持つ。

1. はじめに

近年、企業の基幹業務システム環境では、ERP(Enterprise Resource Planning)というキーワードが注目を集めている。これは、「企業の経営資源を全体最適で見て配分する」ことを意味することばである。

大・中企業を中心にこのERPへのニーズが高まっており、各企業は情報システムの再構築にERPの実現をゆだねている。このニーズにこたえるために日立製作所は、統合業務パッケージ“GEMPLANET”を開発した。このGEMPLANETは、企業の基幹業務をトータルにサポートするパッケージソフトウェアである。特に、わが国の企業の持つ特有の業務機能(製番管理や手形管理など)をサポートし、「掲示板ワークフロー」や「市場即応業務コントロール方式」といったBPR機能も持っている。さらに、インターネットやイントラネットはもちろんのこと、多言語、多通貨にも対応しており、企業の国際化を支援する。すなわち、企業の基幹業務システムを全社視野で考慮し、「速く・確実に」構築できるERPパッケージと言える。

ここでは、この統合業務パッケージ“GEMPLANET”の概要と、急激に進歩するインターネット技術をこの製品にどのように取り込んでいるかについて述べる。

2. ERPパッケージに対するニーズとGEMPLANETの概要

2.1 ERPパッケージに対するニーズ

従来、企業のシステム構築については、大・中企業では手作り指向が、小企業では各ベンダが基幹業務のひな型システムとして開発、販売してきたパッケージ指向がそれぞれ強かった。しかし大・中企業を中心に、時代の流れに乗ったシステム構築のニーズが強まってきた。つまり、情報システム環境の急激な変化に伴い、企業の基幹業務システムへの必要性が日々強まってきた。

顧客ニーズには、(1)変化の激しく速い時代への追従、(2)基幹システムのオープン化、短期間の再構築、(3)海外展開を見据えた基幹システムの統合などがある。この背景には、コンピュータ業界の急激な発展に伴う、(1)プラットフォームの多様化・変化、(2)システム価格の低下、(3)CSS(Client Server System)のハードウェア・ソフトウェアの性能向上があげられる。すなわち、大・中企業はERPの実現に情報システムの再構築を検討しており、全社システムの見直しとして、次のような特徴を持つ

ERPパッケージの適用を検討している。

- (1) 低コストでの開発と短期間での稼動
- (2) 業務改革のテンプレート(ひな型)
- (3) 継続的エンハンスと高信頼性
- (4) 業務間でのデータ連動が可能

2.2 GEMPLANETの概要

GEMPLANETは、販売、生産、購買、在庫、物流などのライン活動から、会計、原価、人事・労務といったスタッフ活動、ISO(国際標準化機構)に準拠した環境管理をサポートし、製造業・流通業それぞれの業種に幅広く対応する。

2.2.1 開発コンセプト

「リアルタイム」と「フレキシビリティ」をキーワードに、次のコンセプトでGEMPLANETを開発した。開発コンセプトを図1に示す。

- (1) リアルタイムマネジメントの提供

リアルタイムな業務連動とインターネットの利用により、業務間、拠点間をシームレスに統合する。しかも、生きた業務データを統合管理することによって情報が戦略的に活用できる。

- (2) 顧客サービス、業務効率の向上

顧客の要求納期への対応、在庫削減、負荷の平準化などの業務課題を同時に解決するために、独自に開発した新業務方式を採用した。市場環境への対応や、競合優位性を確立、維持するための業務機能を提供する。

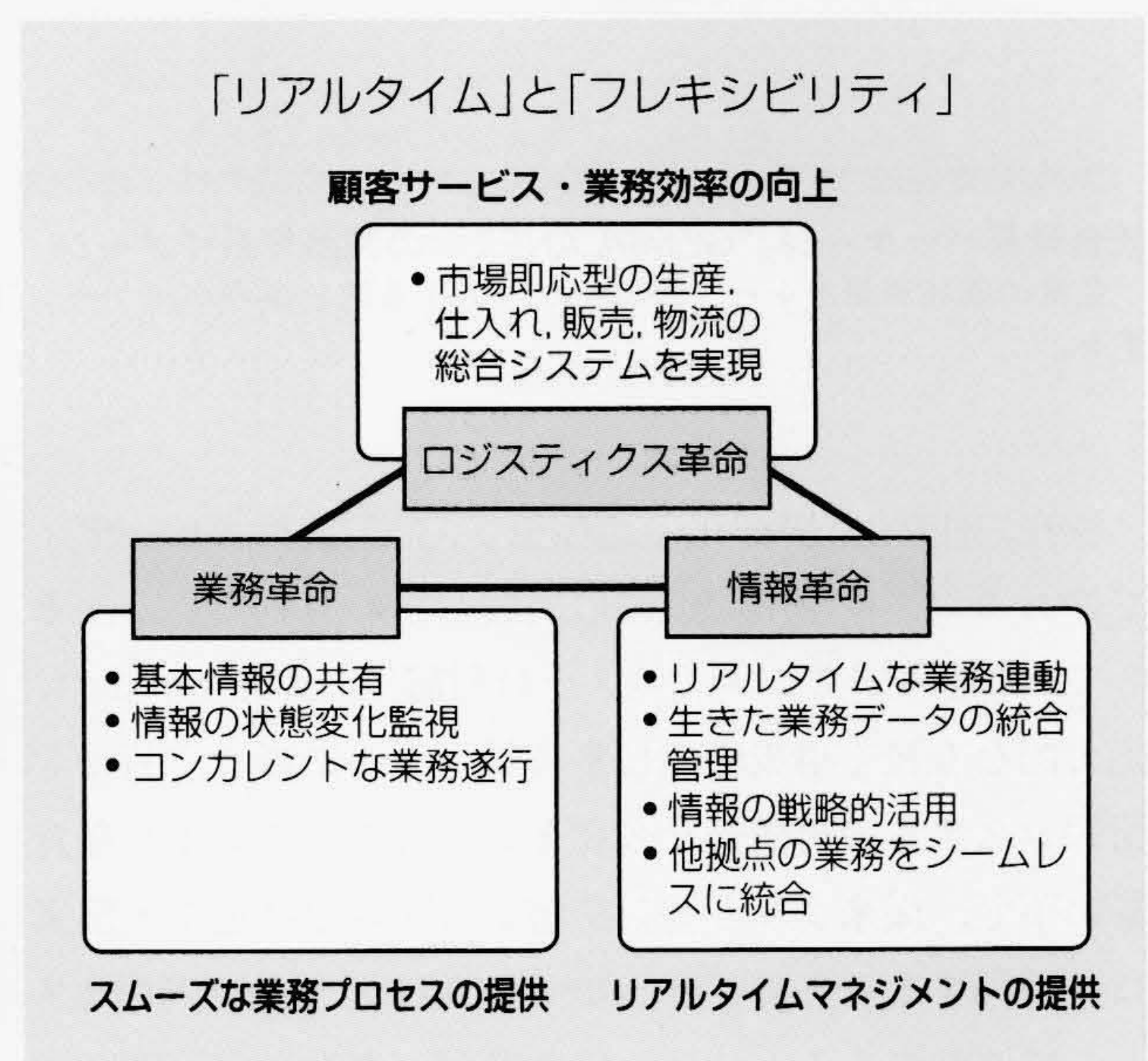


図1 GEMPLANETの開発コンセプト

製品のキーワードは「リアルタイム」と「フレキシビリティ」である。

(3) スムーズな業務プロセスの提供

ワークフロー機能を活用し、ピラミッド形の組織・業務運営での重層構造からフラットな業務運営への転換、さらに、伝票や書類を回付することによるタイムディレーの解消などの業務改革を推進する。

2.2.2 製品の特徴

GEMPLANETは、企業の基幹業務をトータルにサポートするパッケージソフトウェアである。わが国の企業の持つ特有の業務機能(製番管理や手形管理など)をサポートし、「掲示板ワークフロー」や「市場即応業務コントロール方式」などのBPR機能も持っている。

(1) 掲示板ワークフロー：同一書類を各関連部署が同時に見ながら、並列的に業務を進めていく方式

(2) 市場即応業務コントロール方式：原材料や商品などの仕入れから生産・販売・物流までのロジスティクス全工程の中で、顧客の要求納期への対応と在庫削減、負荷平準化を同時に実現するための管理方式

製品導入時には、各業種・業務形態ごとに業務テンプレートを提供。これにより、業務システムが容易に適用できる。これに加えて、カスタマイズは、(1)業務パラメータ選択、(2)モディフィケーション、および(3)新規部品の開発の3種類で対応する。

(1) 業務パラメータ選択：業務テンプレートに従って、細かなシステム管理方式や組織設定、セキュリティなどをパラメータで設定・チューニングする。

(2) モディフィケーション：画面のGUI(Graphical User Interface)や帳票を変更、修正するために、GEMPLANETで提供する辞書システムの辞書ビューアにより、業務パラメータを変更、設定する。

(3) 新規部品の開発：GEMPLANETが標準で備える業務部品だけでは対応しきれない場合、顧客仕様の業務部品を新規に開発し、その部品だけを差し替える。

また、インターネット・イントラネットの活用により、社内・社外の複数拠点にまたがる業務をシームレスに連携する。

さらに、すべての機能を日立製作所の中で開発しているので、顧客の製品に対するニーズの反映や、製品知識に詳しいエンジニアによるサポートが容易になる。BPRコンサルティングから導入・保守までのトータルソリューションサービスを展開する「GEMPLANET関連BPRコンサルティングサービス(産業向け業務トータルソリューション)」を提供する。

3. GEMPLANETでのインターネットへの取り組み計画

3.1 GEMPLANET活用による最適サプライチェーンの実現

インターネット・イントラネットは、急速な技術革新、製品の急増・充実により、企業内情報発信・共有から始まって、今や産業構造のグローバル化、企業内外の情報連携、CALS(Commerce at Light Speed)、EC(Electronic Commerce)といった幅広い基幹業務システムへの適用インフラストラクチャーとして注目される。

GEMPLANETでは、ERP業務システムの提供と同時に、インターネット技術を使った企業間業務連携、ネットワークシームレス化、共有情報による情報武装などによる最適なサプライチェーン業務を合わせて提供する。

GEMPLANETによるインターネット・イントラネット対応機能で実現できる業務視点、管理視点のポイントは以下のとおりである。

(1) インターネット・イントラネットのインフラストラクチャーによる企業間情報、業務シームレス化、およびボーダーレス化の実現

(2) EC取り引き対応機能による受発注業務などの簡略化、情報精度の質的向上

(3) 生販財物情報の情報共有、意思決定支援情報の提供による情報武装化の実現

(4) WWW(World Wide Web)システムによるオープンシステム化、システム運用の容易性、保守性の向上、およびコストの削減

3.2 インターネット対応機能での業務シナリオ

GEMPLANETでは、インターネット対応機能での業務シナリオとして、(1)情報共有業務シナリオ、(2)企業間EC業務シナリオ、(3)オンラインショッピングシナリオ、および(4)イントラネット対応システムシナリオの4種類を提供する考えである。各業務シナリオとインターネット対応機能について以下に述べる。

(1) 情報共有業務シナリオ——基幹共有情報を各関連部署へ発信する機能の提供：各種情報共有、発信カスタムテンプレートを提供し、汜(はん)濫情報を個人(使用者)レベルでナビゲートしてタイムリーな情報を提供

(2) 企業間EC業務シナリオ——グローバルな発注・購買業務連携機能の提供：公開入札から電子決済までのグローバルな発注・購買に対応、新製品開発でのCADデータ交換などの企業間連携を実現

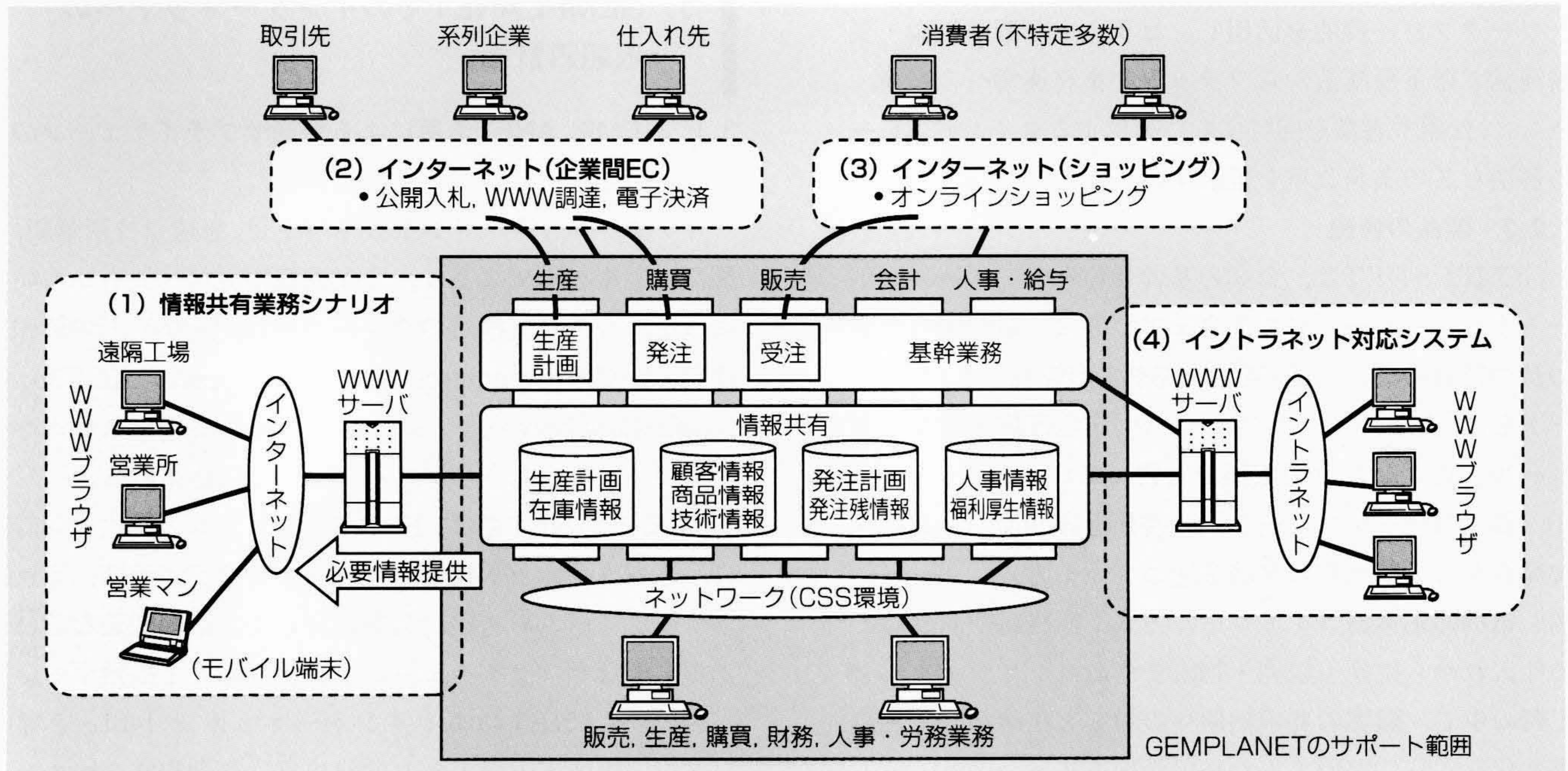


図2 GEMPLANETでのインターネット業務シナリオイメージ

イントラネット対応の最終形は、ERP業務システム全体をWWWサーバ環境、WWWブラウザで実現する。

(3) オンラインショッピングシナリオ——不特定多数消費者による販売形態機能の提供：WWWによる商品紹介から、消費者による商品選択、支払いまでをサポートする電子決済対応、マスカスタマイゼーションの実現

(4) イン트라ネット対応システムシナリオ——システム形態をWWWシステムとして提供：ERP業務システム全体をWWWサーバ環境、WWWブラウザで実現

GEMPLANETでのインターネット対応システムを図2に示す。

3.3 インターネット対応への取組み計画

インターネット対応機能パッケージは、GEMPLANETの基幹業務システムをバックエンドシステムと位置づけ、インターネットのインフラストラクチャーをベースとしたインターネット対応機能を順次リリースする。

4. おわりに

ここでは、ERPパッケージとして開発した統合業務パッケージ“GEMPLANET”の概要、およびこの製品で対応していくインターネットへの取組みについて述べた。

市場動向や情報システム環境の急激な発展に伴い、企業経営者は基幹業務システムの再構築をますます重要視するようになってきている。GEMPLANETは、掲示板ワークフロー、市場即応業務コントロール方式により、

企業のBPRを強力に支援する。一方、この製品を「速く・確実に」導入できるように、豊富なカスタマイズ方式やBPRコンサルティングを提供する。

今後は、最適サプライチェーンの実現を目指し、情報システム構築に必要なイントラネット・インターネット技術を段階的に取り込んでいく考えである。

参考文献

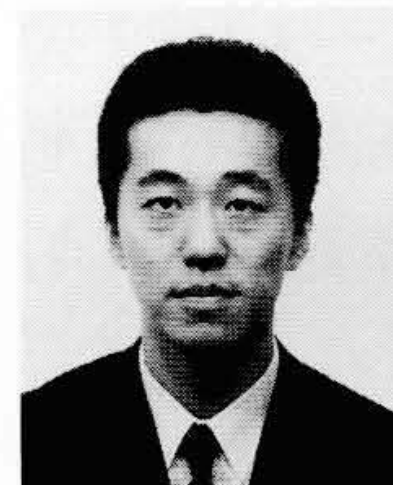
- 1) 日本ガードナーグループ株式会社：日本におけるERPパッケージ製品の現状(1995年12月15日)
- 2) 日経BP社：イントラネット構築のすべて、49～55(1996-7)

執筆者紹介



木橋智徳

1991年日立製作所入社、情報システム事業部 産業システム本部 APP開発センタ 所属
現在、統合業務パッケージ“GEMPLANET”の拡販に従事



酒谷正人

1994年日立製作所入社、情報システム事業部 産業システム本部 APP開発センタ 所属
現在、統合業務パッケージ“GEMPLANET”の開発に従事
E-mail: sakatani@system.hitachi.co.jp